



題字 草原田 親

No. 957

2021/9/15

# 日中友好新聞

発行所  
日本中国友好協会  
〒111-0053 東京都台東区浅草橋5-2-3  
日中ビル5F  
電話 03(5839)2140(FD)  
FAX 03(5839)2141  
http://www.jcfa-net.jp  
E-mail: nicchu@jcfanet.jp  
社址 〒0119-1-2117

日中友好協会  
岡山支部  
〒700-0034  
岡山市北区下伊福  
西町1-59 民主会館1F  
TEL: FAX 0861250-8800

日中友好協会  
倉敷支部  
〒712-8031  
倉敷市福成町3-461-45  
TEL: FAX 0861411-7800

日中友好協会岡山支部ホームページ  
http://rizhongyouhao.jinaa.net/  
メールアドレス  
nicchukayama@yahoo.co.jp



## 第10回中国百科検定

—理解は絆を強くする—

11月27日(土)に、第10回百科検定が実施されます。岡山県は、岡山国際交流センター3階の研修室で行われます。

受験料、試験時間などの詳細は、同封のパンフをご参照ください。なお、申込期間は、9月1日～10月27日です。すでに受け付けは始まっています。同封の払込取扱票に記入の上申し込んでください。

岡山支部は、受験者を20人確保したいと思っています。

### 中国百科検定対策講座

日時：9月19日(日)

時間：13時30分～15時30分

場所：福祉交流プラザ旭東

1階研修室

特級を受験して、「地理」「歴史」を合格した小川理事と小林理事が、体験を交えて、勉強の仕方を話してくれます。

もちろん、3級2級1級を合格していらっしゃる方もいます。

なんでも質問してください。

当日、「中国百科」(中国百科検定公式テキスト)と「問題集」をお持ちください。販売もいたします。(割引販売あります)

第10回

## 中国百科検定

百科老師

**理解は  
絆を強くする**

中国力で  
可能性を  
広げよう

●中国百科検定とは  
中国の歴史・地理・政治・経済・社会・文化・教育・スポーツなど多方面の知識関心を試すユニークな検定です。

検定実施日 第10回：2021年11月27日(土)

お問い合わせ：日本中国友好協会事務局  
〒111-0053 東京都台東区浅草橋5-2-3 日中ビル5階  
E-mail: nicchu@jcfanet.jp  
TEL 03-5839-2140 FAX 03-5839-2141  
(受付は午前10時から午後6時 土・日・祝日は除く)

中国百科検定公式サイト  
http://www.jcfa-net.jp/kentei/

問い合わせ先  
日中友好協会岡山支部  
〒700-0054 岡山市北区下伊福西町1-59  
民主会館1F  
TEL・FAX (086) 250-5800

お問い合わせ先  
日中友好協会岡山支部  
事務局長 小林軍治  
☎ 090-8240-2001

### 中国語講座

リモート授業を開始する

真田紀子

8月21日(土)からリモート授業を始めました。

コロナ感染者数が、岡山でも多くなってきたので、いつ公民館が使えなくなっても困らないように、以前から受講生で話し合ってきた。それを今回実行することができたのは、劉老師にリモート授業の経験があることでした。

当日、事前にワードで作文を作り、ライン上で送ります。授業では全員がズームでつながっています。老師が画面上に作文を表示し、画面上で添削をしてくれます。完成した作文を老師が読んで後に、受講生が反復するので、この段階が少しもどかしい感じですが、このやり方で、今後の授業を続けることができるのは安心です。

26日に公民館から連絡があり、9月の12日まで公民館は利用停止になりました。

## 9-18 は柳条湖事件 90周年



(中国瀋陽にある九・一八歴史博物館)

### 日本と中国、世界平和友好のために

世界は、アメリカの覇権主義からどんどん離れて、自主・平和共存の道へと進んでいます。一方で日本の自民党は「日本を再び戦争できる国」にするため、憲法9条を変えようと執念を燃やしています。戦後76年間日本は、9条のおかげで一度も戦争をしていません。

### 90年前・瀋陽で 鉄道爆破事件

今から90月年前・1931年9月18日、中国東北地区瀋陽で日本軍が鉄道爆破事件を起こし、これを中国側の仕業として中国東北部を占領、かいらい「満州国」を作りました。

### 日本人も忘れては ならない日

9月18日は、中国では「勿忘、九・一八」(チューイーパー)と呼んで忘れられない日です。もちろん日本人にとってもアジア・太平洋戦争とつづく「15年戦争」の発端となった日で、忘れてはならない日です。

### 平和憲法を守り生か し平和な日本を

# 令和三年度 上南公民館主催講座 「地域ふれあい事業」

## 「次世代に伝える」星野さん小林さんに戦争の話を聞いてみよう

岡山市立上南公民館職員

戦後76年が経過し、日本が戦争をしたことさえ知らない世代が増え、平和に暮らしていきけることが当たり前になっていきます。しかし、目を海外に向けてみるとあちこちで武力衝突が起こり、多くの尊い命が失われています。上南公民館では戦争体験者の方をお呼びして、「平和の大切さ」について考える時間を持ちました。

参加者は小学生の親子・中学生。そして地域の方と年齢も違う18人。最初の1時間は、戦争を体験した星野次男さん(少年飛行兵が夢だった)と小林軍治さん(中国からの引き上げ)のお話を伺いました。

星野さんは群馬で生まれ現在92歳です。戦闘機に乗ることにあこがれ、1942年愛媛航空機乗員養成所入所。すでにガダルカナル島攻防戦などで戦況は日本に不利な展開となっていたが知らされもせず、訓練に明け暮れていた。1944年には連合国による日本各都市に対する本格的な爆撃が繰り返され、ついに愛媛にもB29が飛来し、命からがら防空壕に逃げ込んだ。あんなに怖かつ



星野さん

たことはない。そして、1945年8月15日終戦なり、星野さんは16歳で帰郷旧制中学に編入し卒業しました。その後友人の誘いで岡山に就職。人生を振り返り戦争は絶対にしてはならない。聖戦などありえない。」と語られ話を結ばれました。

小林さんの両親は、1937年中国に開拓団として人植。その土地はすでに開かれていて住んでいた中国や朝鮮の人々は、開拓地の外に追いやられ、日本の開拓団で労働者として働いていた。1945年8月戦況悪化を知り、約千人で避難を開始。約一か月後にソ連軍の捕虜となり、敗戦を知り、ハルビンの小学校に収容。一年間親子3人なんとか生き延び1946年4歳で佐世保港に引き上げ

て来た。

帰国して何年もたつてから、中国残留孤児の身元捜しのテレビを熱心に見る両親の姿から、弟の存在を知った。高校教師となり、平和の大切さを生徒に語り定年を迎えた。小林さんは、日本の戦争は過去の出来事であるが、原爆をはじめとして現在も戦争の影響は続いている。戦争体験を被害・加害の両面から継承することが大切であり、世界的な視野で戦争と平和について考えて欲しい。戦争・暴力の反対語は平和ではなく今は対話だと考えている」と語られました。小林さんは、現



小林さん

在日中友好協会の仕事をされています。

お二人のお話がおわり、父の記憶(一九四五年六月二十九日岡山空襲)のDVDを観ました。そしてそれぞれの平和への思いを書いて風船に付け空に飛ばしました。短時間でしたが参加者にとつて、とても貴重な時間となりました。

### 感想をいくつか紹介します。

子どもさんと参加されたお母さんは、小二の娘に戦争の話を聞かせたくて参加しました。尋常小学校を出たら戦争のために養成所で訓練するお話は印象に残りました。後半満州のお話は私自身知識不足でした。生まれた子を手放す決断にせまられたお母さんの気持ちは、想像を絶するものです。「娘さんは、国と国がなかなかするとせんそうしなくてすむ。」

60代の男性は、詳細な話は初めて聞きました。まず、知ること。理解して正しく伝えること。本当にみんな他人事ではないです。知っておくべきこと、忘れてはならないことがあります。」

11歳の小学生は、戦争の反対語は平和ではなく対話だということが分かりました。少しでも戦争のことをみんなで話さなければ平

和な世界は実現できない。」

これからも公民館主催行事として、戦争と平和について考える時間の継続が大切だと強く感じました。平和の願いを込めて飛ばした風船の一つは、真庭市の方が拾われ公民館に電話をいただきました。参加者の平和への思いが少しは伝わった気がします。

### 柳条湖事件90周年街頭 宣伝時間と場所の変更 について

場所と時間を次のように変更します。

柳条湖事件90周年の街頭宣伝は、9月18日(土)、11時から12時まで天満屋アリスの広場前で予定していましたが、諸般の事情により、次のように変更します。  
時間と場所  
○9月18日(土) 12時～13時  
○岡山駅西口 さんすて前

なお、今回は岡山県9条の会と同宣伝として行います。ご参加よろしく願います。

次回の新聞発送作業は

9月29日(水)午前10時から

民主会館2階で行います。

前回お手伝いくださった方です。

田飼 林田内井  
池犬 小真竹坪